

「金融」とJICA業務

4月にJICA広報室長に着任しました。よろしくお願ひ申し上げます。

私は約30年前、円借款や海外投融资の実施機関だった海外経済協力基金に就職しました。その際、金融機関に勤めるという意識はあまりなかったのですが、最初の研修で、担保などの金融法務を習ったことを記憶していません。その後、プロジェクトファイナンスやスワップなどの用語が業務上も登場してくるようになり、南アジアの中小企業や農家に対する金融のプロジェクトや、ベトナムの金融分野の調査・研究にも従事しました。

行政改革によって、1999年に勤務先の海外経済協力基金は国際協力銀行という「銀行」に。当時は、アジア通貨危機の影響もあって、日本と開発途上国の両方で、さまざまな金融の影響力を目にする事となりました。バングラデシュの赴任中に、日本も支援したグラミン銀行とその創始者であるユヌス教授がマイクロファイナンスでノーベル平和賞を受賞したことは印象に残っています。

その後、再度の組織改編により、私はJICAの職員として途上国の民間セクター支援、中でもJICA海外投融资の活用に関わるようになりました。この3月まで勤務していたスリランカでは、女性の手工芸品生産による家計向上から大規模なインフラ整備に至るまで、金融には幅広いニーズがあることを実感しました。

「金融」とは、お金を融通することと定義されます。しかし、それは機械的な作業や仕組みではなく、お金を出す人、使う人、それをつなぐ人で成り立っています。私もこれまでの仕事で「金融」に関わる中で、さまざまな方々の営みを拝見してきました。今号の特集が、読者の皆さまに、「金融」を難しいものではなく、身近なものと感じていただける機会になればと願っています。

JICA広報室長 天田聖

本誌へのご意見・ご感想や
JICAへのご質問を
お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2017年6月15日

Eメール：jica@idj.co.jp
FAX：03-3221-5584（『mundi』編集部宛）

- ① フィリピン産フェアトレードコーヒー
- ② 書籍『誰も知らない世界のことわざ』（p37参照）
- ③ 書籍『ヴィジュアル版ラルース 新版 地図で見る国際関係 現代の地政学』（p37参照）



①



②



③

本誌をご希望の場合は
下記方法で
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形で送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払いください。入金確認後、発送を手配いたします（入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください）。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 総務部(発送代行)
住所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル9F
TEL 03-3221-5583
FAX 03-3221-5584
Eメール order@idj.co.jp



次号予告 (2017年6月1日発行予定)

難民支援

近年、中東や北アフリカなどにおける治安情勢の悪化によって、国際的な関心が高まっている難民問題。日本は、緊急的な“人道支援”と、受け入れ国やコミュニティの経済発展を支える“開発支援”の一体的な支援を進めています。世界の難民情勢と日本の取り組みをお伝えします。